

H12年度 在京(首都圏)岐阜高校同窓会報告



発行所 在京(首都圏)岐阜高校同窓会
編集人 当番学年34年卒 44年卒

平成12年度 在京(首都圏)岐阜高校同窓会総会 懇親会を挙

良き先輩 良き同期 良き後輩 集い語り シャンソン聴く!

平成12年度 在京(首都圏)岐阜高校同窓会総会 懇親会は、7月1日(土)13時からアルカデア市ヶ谷(私学会館)に於いて、在京(首都圏)岐阜高校同窓会会員247名の出席のもと、盛大に挙行された。平成11年度会務・会計報告を承認、役員改選で新役員20名の承認の後、「熊田シャンソン ライヴ」を楽しみ出席者全員による校歌斉唱で16時30分閉会した。尚、平成12年度同窓会総会 懇親会は、当番学年制、キャンペーン学年制、年会費制の導入など改革具体策の検討結果を踏まえ、20世紀最後の総会、21世紀への新生躍進を目指して、還暦年次の34年卒と10年後輩の44年卒が中心となり、関係役員、協賛学年(47年卒・51年卒)が一体となって挙行された。



総会は、34年卒 那須美徳さんの司会・進行で進められ、先ずH12年度当番学年代表 大西孝夫さん(34年卒・新副会長)が開会を宣言。物故者に哀悼の黙祷(冥福)を捧げた後、在京(首都圏)同窓会 宮川忠夫会長が挨拶(後掲)を行った。次いで、来賓の在京岐阜県人会 理事長 神谷一雄殿の祝辞、岐阜高校 校長 本田修也殿の祝辞と母校の現況報告(後掲)があった。

会則により、宮川会長が議長となり議事に入った。第一号議案として、平成11年度の会務と監査結果を含む会計報告があり拍手を以って承認された。第二号議案として、役員改選につき提案説明があり、満場 致の拍手を以って新役員20名が承認され、就任紹介があった。所定の議案審議が進み、H12年度当番学年 宮本 悠美子さん(34年卒・新理事)の閉会の辞で総会を終えた。

懇親会は、47年卒 森大吾さんの司会・進行により進められ、H12年度当番学年代表 後藤清さん(44年卒・新理事)による「開会のことば」に始まり、残念ながら広島での野球解説のためスケジュール調整が出来ず、急遽出席できなくなつたNHK野球解説者 森祇晶さん(30年卒)の映像による「メッセージ」が披露された。昭和6年卒で今総会出席者の最年長者 浅野銀一さんと浅野敏夫さんによる高らかな「乾杯!」の後、卒年別テーブルでの旧友懇談、テーブルを離れての先輩後輩との会食懇親が和やかに進んだ。

47年卒学年幹事 河合雅樹さんが母校を訪問して撮影をした校舎、教室、図書館での生徒の学習風景、クラブ活動の状況などをナレーション入りで映像に収めた「最近の母校」の紹介があった。出席者皆々々の学生時代に戻り懐かしさや変化に驚いた二時であった。母校の発展と先生方や在校生への期待を込めた大きな拍手が沸き起こった。「最近の母校」紹介の後には、懇親会のメインイベント51年卒で二橋大時代からは無きシャンソンのメッカ「銀座」等で歌い、シャンソンコンクールで最優秀歌唱賞等を受賞し、ソロライブで活躍をしている熊田良治さんによる「熊田 シャンソン ライヴ」。ピアノとアコーディオンをバックにスポットライトを浴び「ばら色の人生、恋心、詩人の魂、黒いオルフェ、よいと捲けの詩」等を約50分熱唱してくれました。舞台から会場に降り、同窓の皆さんとの合唱もあつて、場内は華やかなりし様子が増しました。すばらしい卒業生がいる事を知り得たことも同窓会の賜物でした。47年卒並びに51年卒の皆さんの協力による楽器搬入。会場の設営も苦勞様でした。無料で出演して戴いた熊田さんありがとうございました。益々のご活躍を祈念します。

熊田節子さん(18年卒・副会長)のリードによる「ああ すめらみ国」に始まる岐阜女校歌、H12年度当番学年の加藤健太郎さん(44年卒)をリーダーとした岐阜校歌・応援歌 斉唱。「千仞の嶽 金華山」。「金華城頭 月芽えて」が会場杯に響き渡りました。H13年度の当番学年である35年卒・45年卒を代表して35年卒 松尾勇二さんによる来年の再会を期した「閉会のことば」をもって16時30分、平成12年度 在京(首都圏)岐阜高校同窓会総会 懇親会を閉会し、同期の二次会等に向け三々五々散会した。

熱唱する熊田さんと同期の女性達からの花束贈呈。

平成13年度 在京(首都圏)岐阜高校同窓会総会 懇親会は
日時：平成13年6月23日(土) 12:00~16:00
場所：アルカデア市ヶ谷(私学会館)
に於いて、開催の予定です。